

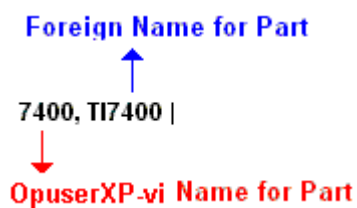
I. MAIN パーツディクショナリ作成

ネットリストインポートの際、他 CAD から出力された部品名称と OPUSER 内の名称とを関連付けます。

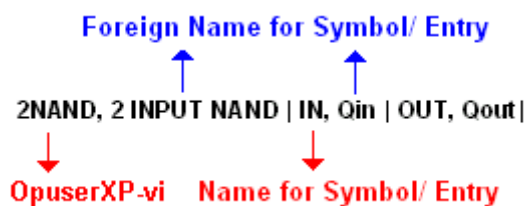


部品名称の関連付けに使用する EDD ファイルは

『OPUSER 部品名, 外部部品名|』 = 『OPUSER 部品名 (半角カンマ) 外部部品名 (半角縦棒)』



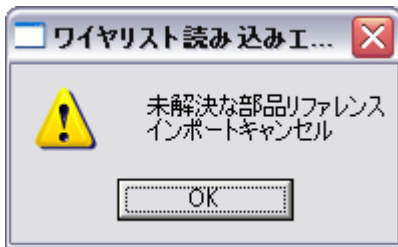
EDS ファイルはシンボルの名称、ピンアサインを関連付けます。



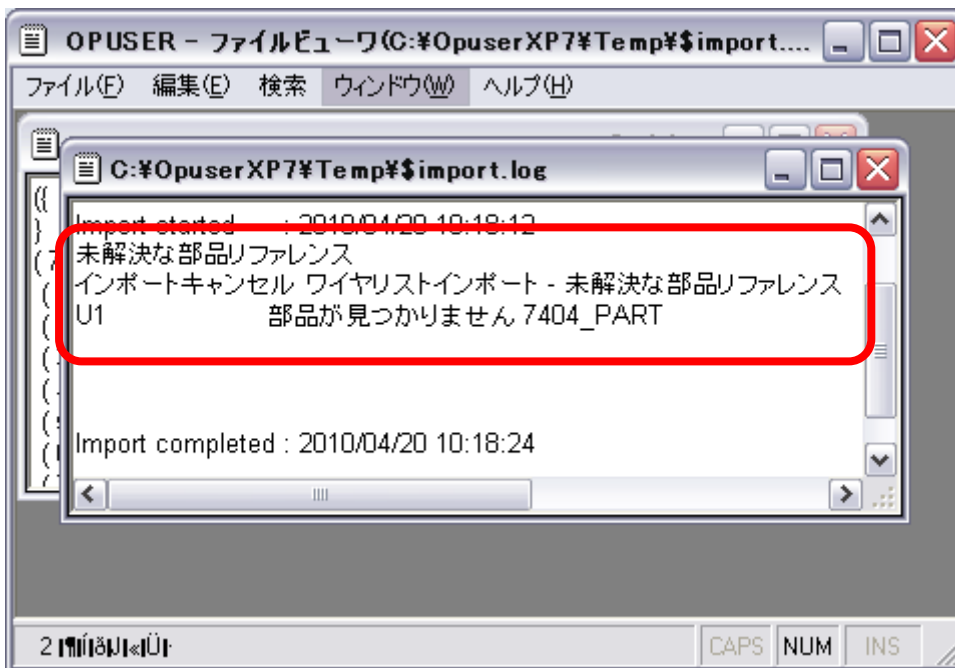
以下 EDD ファイルを作成してインポートを行います。

1.0 : EDD ファイルの作成

ネットリストのインポートを行い、名称が一致しない部品があると以下の表示がなされインポートがキャンセルされます。



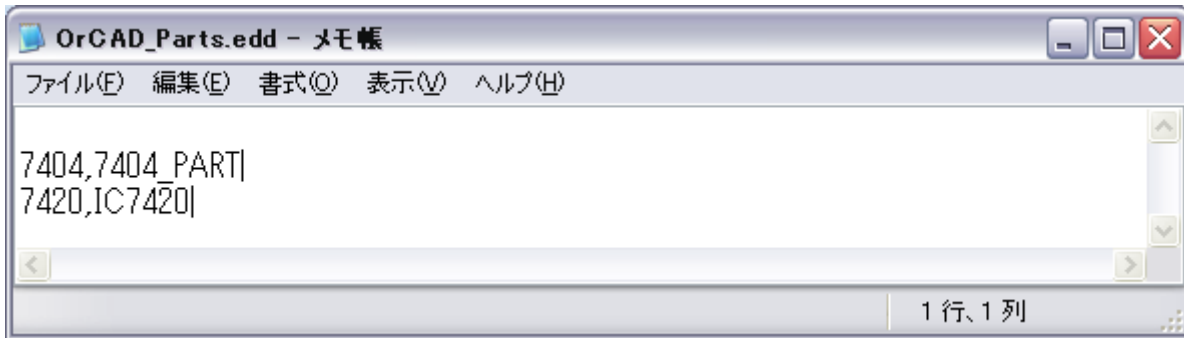
表示されるファイルビューワにて発見出来なかった部品の名称が確認できます。



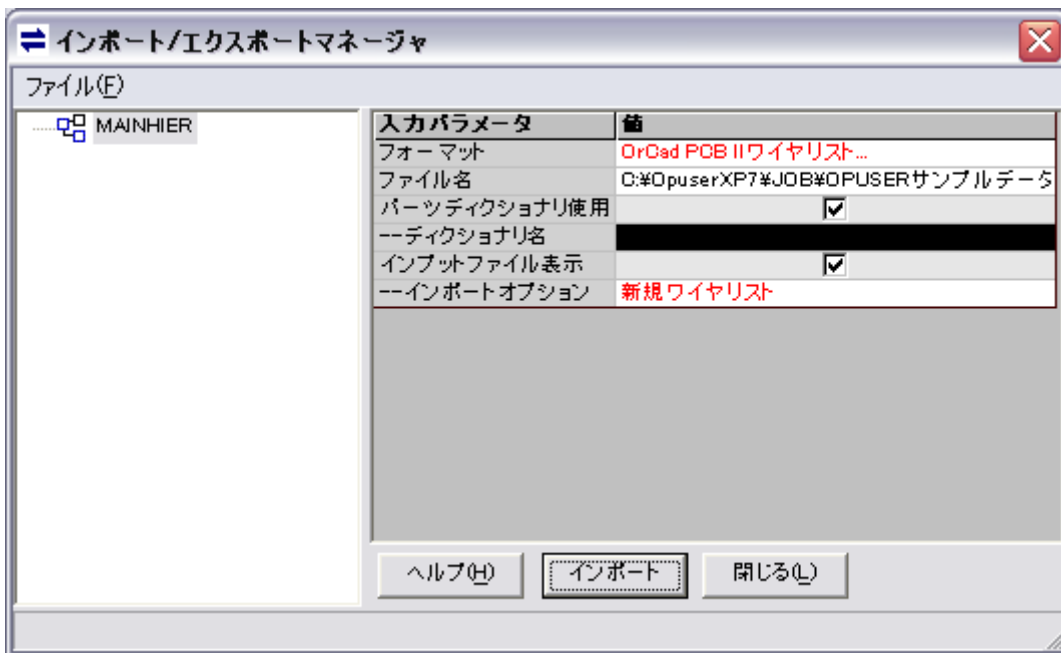
ノートパッドでファイルを新規作成、名称は『任意の名称.EDD』として保存します。(以下は OrCAD_PARTS.EDD)



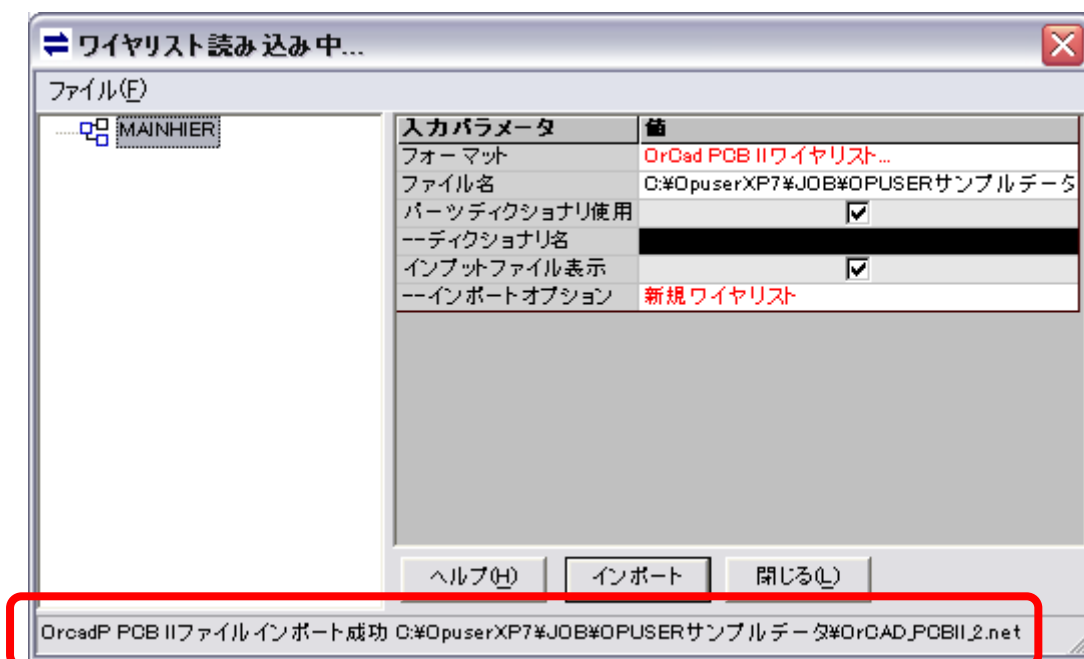
『OPUSER 内での部品名称, (半角カンマ) 外部での部品名称 | (半角縦棒)』を入力、上書き保存します。



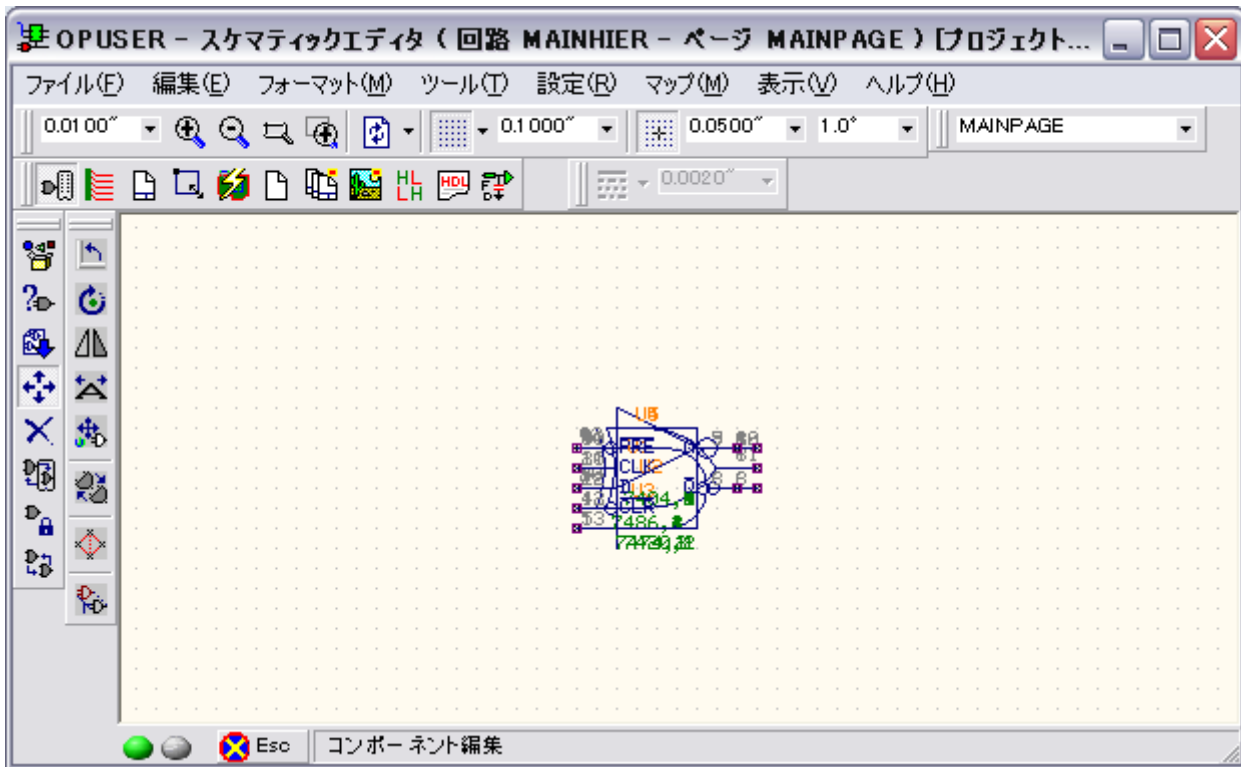
インポート/エクスポートマネージャにて『パーツディクショナリ使用』にチェックを入れ、ディクショナリ名の箇所で作成したファイルを選択します。



インポートを行うと『インポート成功』と表示されます。



スキマティックエディタを起動して作業を続けます。



2.0 : EDS ファイル

シンボルの対応付けを行う為、ピンアサインについての記述が必要になります。

